

総合的な学習の時間 「聴覚障がいについて知ろう」

横須賀市立津久井小学校



単元（題材）目標

- 聴覚障がいについて知り、その関わり方を考えることができる。
- 手話について知り、聴覚障がい者に対する理解を深める。

（1）実施時期

令和2年2月上旬

（2）対象（学年等・人数）

第4学年 54名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：特別支援学級担当1名



（4）実施内容

- ①耳が不自由な人との関わり方を考える。
 - ・ジェスチャー、筆談、読唇、空書等の方法があることを知る。
- ②耳が不自由な人はどんな生活をしているのか考える。
 - ・手話を使わずに伝えてみる。
 - 口話や表情・ジェスチャー等を使えば伝えることができる。
 - ・ろう者の体験の話を聞き、その生活について知る。
- ③簡単な手話を使ってみる。
 - ・指導者の手話を見て伝えたいことを想像する。
 - ・あいさつ・数字・気持ち等を表す手話を知り、練習する。
 - ※各時間の導入では、指導者は声を出さずに手話で話した。

（5）成果

- 手話の方法よりも、自分にできる関わり方を考えさせることに重点を置いたことで、耳が不自由な人と積極的に関わってみたいという感想をもった児童が多かった。
- 手話に興味をもち、授業後も児童同士で練習したり指導者に手話で挨拶したりする姿が見られた。

（6）その他

- ろう者と関わりのある本校教諭が指導を行ったことで、身近な話題として考えることができた。